

プラチナケール®

● Brassica oleracea

葉牡丹



発芽適温 20~25℃
生育温度 5~25℃

発芽日数 4~8
播種量/1a 10~15ml

葉の表面のブルーム(白いワックス成分)がなく、光沢とメタリックな質感を持った葉牡丹「プラチナケール」。その照葉が生み出す高級感が葉牡丹から新たな可能性を引き出します。



ルシールバニラのポット仕立て



F1ルシール バニラ



ルシールワインのポット仕立て

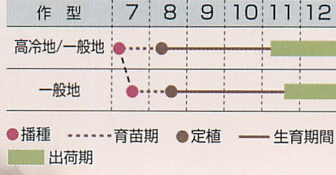


F1ルシール ワイン

ハ F1ルシール系(高性種)

品番	品種	特長
FHB712	F1ルシール バニラ PVP (登録名: TB525)	葉が立葉で葉枚数が多く、着色部の白色と緑葉のコントラストが美しい品種。白色の素材としてだけでなく、輝きのある緑の花材としてもおすすめ。草丈は約80cm。
FHB711	F1ルシール ワイン PVP (登録名: TB524)	草丈は約70cmとなり、葉は小葉で葉数は多い。葉はやや開き気味で着色部が広く見える。着色部は落ち着いた紅色。着色期は早く、ウインターチェリーと同程度。

価格 フィルムコート1,000粒 **10,000円** (税込10,800円)



専用ラベルあり
↓
詳細は P.165

栽培上の注意点

基本的には従来の葉牡丹と同じ栽培だが、ブルームがなくなったことにより、環境・温度・肥料など栽培条件により影響されやすい。

- 病害虫(コナガ、べと病など)が付きやすいので、早めの防除を心がける。
- 従来種と比べ着色が早く、色戻りはしやすい。
- 肥料が切れると葉のツヤが落ちるため、着色の1か月前までは極端に肥料切れしないよう管理する。最低夜温が12~13℃を下回るころから着色に向けた生育に入り、約1か月後着色するが、色戻りを考慮し肥料は控え気味とし、必要な場合には短期間に肥効が切れる液肥などで追肥する。
- 温度の影響を受けやすく暖かい環境では節間が伸張しやすくなる。ハウスで栽培する場合、着色へ生育が移った後は日中の温度が上がりすぎないようにサイドを開け、換気に十分注意する。

プラチナケールとは?

タキイ種苗が長年培ってきたハボタンの育成技術を元に、今までにない光沢のある葉が特長の、まったく新しいハボタンの品種を開発しました。これらを従来のハボタンと区別するため、「ハボタン」ではなく「プラチナケール」と命名しました。

Lucir